

見て・聞いて・触って学ぶ

亀岡生き物大学開校



△亀岡生き物大学いよいよ開校!! どんな楽しい授業が待っているのでしょうか

7月9日、宮前町にある地球環境子ども村役場で「亀岡生き物大学」

の開校式を行いました。

これは、亀岡の豊かな自然を次の世代に引き継いでいこうと、子どもと親が一緒になって専門的な学習も取り入れながら、亀岡の自然を全身で感じることで環境や命の大切さを再発見する体験型の環境学習です。

式では、学長の栗山市長が「動物や植物などたくさん生き物のことを知り、触れ合うことで、思いやりや命を大切にすることを育んでください」とあいさつ。参加者による自己紹介では、「生き物が大好きです」「動物や昆虫のことをもっと詳しく知りたい」のほか「生き物は嫌いだけど、好きになれるようにがんばります」とそれぞれの意気込みを述べました。開校式を心待ちにしていたという田中大地くん(大井小学校4年生)は、「この1年で知らないことをいっぱい勉強したい。そして、いろんな昆虫や植物を自分の手で触ってみたい」と笑顔で話し、当日プレゼン



△プレゼントされたクワガタムシに興味津々

トされたクワガタムシを早速かごから取り出して感触を確かめていました。

今後、41人の参加者たちは亀岡の豊かな自然の中に生息するさまざまな生き物と触れ合いながら、自然や環境、さらには友達を大切にする心を育んでいくことでしょう。

地域の力で明るい社会を

犯罪や非行を防止するとともに、罪を犯した人や非行に

陥った少年らの立ち直りを支

える地域の力を結集するため、全国的に実施されている「社会を明るくする運動」の市民中央集会在、7月9日、亀岡会館で行われ、市民ら650人が参加しました。

この日は、保護司の仕事についての映画上映や、京都ダルク施設長、加藤武士さんの講演に続き、小・中学生による意見発表が行われ、大成中学校3年の三原

史也くんが「あいさつを通して生まれる人と人とのつながりや、支え合いが社会を明るくする」と主張しました。

恒例となっている集会後のパレードでは、この運動への継続的な協力によって京都府知事から感謝状を受けた亀岡高校吹奏楽部を先頭に、横断幕を持った栗山市長ら250人がJR亀岡駅前などを歩いて啓発活動を行いました。

亀岡市では今後も、犯罪や非行の防止だけでなく、更生を保護するという視点からも安全・安心な明るい亀岡を目指してまいります。

サンガの本拠地で亀岡PR

7月10日、京都サンガF.Cは、西京極総合運動公園で「亀岡市PRデー」を開催し、亀岡の特産品を販売するための場所を設けたり、亀岡市民を試合に招待優待しました。同クラブは、より多くの来場者に京都府の市や町の特色を知ってもらい、来場者と地域住民との交流を深めてもらおうとこの取り組みを行っており、この日は亀岡市のPRデー



△たくさんの人でにぎわった物販ブース

第三百二十五回 文化財めぐり

お祭りのご馳走

昔から旬のものを食べると病気になると言われたものです。最近では季節に関係なく、手軽に食材が手に入るようになりましたが、昔はご馳走が食べられる日は、記念日や祭りなど特別な日に限られていました。お祭りの楽しみは、神事や芸能もさることながら、何よりもご馳走が食べられることにあるのです。

お正月のお餅、田植えの日にたけのこ御飯、夏越の祓いに水無月など... 神や仏に捧げ

△佐伯灯籠に欠かせない行事食の「とり貝寿司」

る神饌なども地域や家ごとにさまざまなレシピで作られます。お盆のお祭りである佐伯灯籠では、めずらしいとり貝の干物を使ったとり貝寿司が欠かせないご馳走です。これは、甘辛く煮て中央に穴を開けたとり貝を寿司の具材とし、そこから円錐形にとがらせた寿司飯をのぞかせ、ごま塩を振ったものです。このとり貝寿司は、江戸時代の資料にも登場することから、子孫繁栄の願いを込め、長年食べ続けられていたことが分かります。先人たちが知っていたかどうか分かりませんが、とり貝には免疫力を高める効果があるようです。

10月30日、ガレリアかめおかで開催される国文祭では「民俗芸能の祭典」とともに、丹波の食材を使った伝統的な行事食を提供する食文化の祭典「里」が開催されます。

民俗芸能も楽しんでいただき、こころもお腹も、ともに満腹になっただけだと思えます。



△キックインを披露した明智かめまる

試合直前には明智かめまるも登場し、選手と記念撮影をしたり、試合に使うボールをピッチに蹴り入れる「キックイン」も披露するなど、スタンドにつめかけた観客の前でがんばって亀岡をPRしていました。競技場前に設置されたブースには商工会議所、観光協会、レストランかめおか四季菜が参加し、亀岡の特産品や地元のを冷えたトマト、かめまるグッズなどを販売。サポーターや多くの人でにぎわいました。ずっとサンガファンだという西村雄二さん(京都市右京区)は、「甘みがあつてとてもおいしいトマトですね。今日は暑いので、試合前に食べて体を冷やしてから応援します」と話されていました。